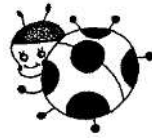


てんとう虫



第132号
2023年
7月発行



仮想現実から拡張現実へ——サブカルチャーの2つの事例を比較して

放送大学北海道学習センター
所長 山田 義裕

今回から「ポスト・コロナ時代の情報メディアとモビリティ」というテーマで、3回にわたり話題を提供する予定です。前々回（第130号）の巻頭言の最後で、「拡張現実」というキーワードを用いてウェブ空間の活動が現実空間へと「漏れ出す」社会事象について触れました。今回は話がやや重複しますが、仮想現実から拡張現実への変化について、サブカルチャーの2つの具体的事例を対照しながら振り返ってみましょう。

1990年代後半からインターネットが大衆化し、オンライン・コミュニケーションの機会が増えるとともに、ウェブ空間における交流や創作活動が急速に活発化しました。ウェブでの協働創作活動は、オリジナル作品の一部に消費者が手を加えて新たなコンテンツを生み出す二次創作を普及させました（三次、四次と連鎖することもあるので「N次創作」と呼ぶ人もいます）。さらに、2000年代に入って始まったクリエイティブ・コモンズという著作権を柔軟化する試みが、この生産消費の流れに棹さします。ウェブ空間における二次創作の活発化を示すものとして、例えば音楽の分野では「初音ミク」現象が顕著な例でしょう。初音ミクとは札幌市のクリプトン・フューチャ・メディアというサウンド関連の企業が開発したバーチャル・シンガー・ソフトウェアですが、これを用いて制作したオリジナル楽曲を二次創作した派生コンテンツが盛んに生産され、それがさらに新たな生産消費を誘発してN次創作の流れを生み出しました。二次創作、N次創作という新たな消費者参加型の音楽の楽しみ方が若者に与えたインパクトは大きく、日本のみならず海外においても注目を浴びてひとつの社会現象となりました。

ウェブ空間内部における交流や創作活動はゼロ年代に入ってから勢いを増すのですが、その一方で2000年代後半から、ウェブ空間の活動を通して出会った仲間たちが現実空間に集い始めるという社会行動が目立ち始めます。この動きは2000年代半ばに世界に先駆けて、日本のサブカルチャーの領域において生まれました。ウェブ空間に閉じこもってアニメキャラクターに「キャラ萌え」していたアニメファンの中に、アニメの舞台となった場所を探し出す者が現れ、それがきっかけでファンたちがそこに赴き現地で集う「アニメ聖地巡礼」という新たな観光行動が始まったのです。初期の代表的なものひとつに、アニメ「らき☆スタ」の舞台である埼玉県の鷲宮町にアニメファンが集い、彼らと地元民の交流が地域活性化に結びついた事例があります。私は2009年に、ひょんなことからその当時アニメ聖地巡礼のメッカだった鷲宮で開催したあるフォーラムに参加しました。その時に、フィールド調査で乗せてもらった「痛車（アニメキャラで飾った車）」の男性の話が強く印象に残っています。なぜ毎週のように鷲宮に集まるのかと質問すると、「アニメのキャラやコンテンツに対する興味はもちろんあるが、それより鷲宮の門前飯店に集まり、仲間と面と向かって話しながら一日を過ごすことこそが自分たちの楽しみだ」と言うのです。ウェブ空間に閉じこもり「キャラ萌え」しているとばかり思っていたアニメファンが、実はリアルな空間で仲間と集い交流しはじめていることに気づかされた貴重な瞬間でした。

その後、ウェブ空間での出会いやコミュニケーションがきっかけで現実空間に集い交流する動きは大きくなるとなり、日本のサブカルチャーのみならず世界各地の社会活動や政治運動へと伝播してゆきます。こうして2010年代以降、ウェブ空間は現実空間とは異なるもうひとつの世界という閉域のイメージから、現実空間との融合へと向かって変容していくのです。今回は、この社会現象の出現を早くから予言していた観光学者、ジョン・アーリのモビリティーズ・スタティーズと関連付けて考えてみましょう。

～「てんとう虫」の由来～

1990年、北海道学習センターが北海道大学構内の札幌農学校・旧昆虫学教室に開設されました。学習センターだよりの発行にあたり、建物が昆虫学の研究に使用されていたことにちなんで「てんとう虫」という名前が命名されました。



旧昆虫学教室

私の音楽活動と動機づけ



放送大学北海道学習センター
客員教員 吉野 巖

私の父は音楽教師で、私は幼少期からピアノをやらされていました。小学生ぐらいになってレッスンの曲が難しくなると練習がめんどうになり、練習をやらないと怒られたりもするので、ピアノに対するやる気がどんどんなくなっていきました。そこから紆余曲折を経て、今は、アマチュアで趣味としてチェロを弾き、オーケストラに参加したり自分で合奏団を組織するなど音楽を楽しんでいます。楽器は違いますが、我ながら「動機づけ」の重要性を実感します。

チェロをやりたいと思った最初のきっかけは、「ピアノをやめたい」と父に言った時に、「何か別の楽器をやるならピアノをやめてもいい」と言われ、そのころたまたまオーケストラの名曲を聞く機会があり、「こんなのできたらいいだろうな」と漠然と思っていたことでした。いろいろ考えて中学1年の時からチェロを習うことになったのですが、自分からやりたいと言って始めた割にはそれほど熱心に練習したわけではありませんでした。中高では部活や勉強に時間がとられ、チェロを練習する時間があまりとれなかったということもありました。ですが、今ふりかえてみると、家で一人で淡々と練習曲を練習するだけというのがやる気につながらなかったのです。魅力的なチェロの演奏にふれる機会があまりなかったことや（もっとコンサートに行ったりCDを買ったりすればよかったのでしょうか…）、年が近くて目標になる先輩や切磋琢磨できるライバルが身近にいなかったこともモチベーションがあがらなかった原因だったかもしれません。それでも、たまに地域のちょっとしたアンサンブルに参加して演奏する機会もあり、ゆるくチェロを楽しんでいました。

そんな、ゆるいチェロとの付き合いは大学オーケストラに入って一変しました。オーケストラで弾きたいという漠然とした夢が一気に現実のものとなり、この曲もやりたい、あの曲もやりたい、この曲のここの部分が弾けないから弾けるようになりたい、などと実現可能な具体的な目標ができました。仲間や先輩が色々な曲を紹介（洗脳？）してくれて、演奏してみたい曲も飛躍的に増えました。また、オーケストラの曲だけではなく、弦楽四重奏の曲やソロの曲を披露する発表会のような機会もあり、上手な先輩や仲間が演奏するのを見て、自分ももっと上手くなってそういう曲を弾けるようになりたいと強く思うようになりました。サークル会館に行けば、誰かしら先輩や仲間がいて練習しており、自然と、自分も負けずに練習しようと思ったものです。このように、大学オーケストラにはモチベーションを上げてくれるものがたくさんあったのです。

学校や大学での勉強も同じです。これを学んでこういうことをしたいという具体的目標、一緒に切磋琢磨してくれる仲間、学び調べたことを発表する機会などは、皆さんのモチベーションをアップしてくれることでしょう！

基礎ゼミ受講生の募集



2023年度第1学期の客員教員による基礎ゼミを開講します。
つきましては次のとおり受講生を募集しますので、ご応募ください。

対象者：本学学生（ただし、定員を超える場合は、全科履修生を優先する。）

募集人数：各ゼミ10名（応募者多数の場合は抽選）

応募締切：7月20日（木）

応募方法：①学生番号・氏名、②希望するゼミ教員名（第3希望まで）、③メールアドレス（テキスト送付や開講中止となった場合等の連絡用）を学習センターに連絡してください。

Tel：(011) 736-6318、fax：(011) 736-6319

決定通知：受講が決定した方には、受講決定通知を送付します。

備考：締切後に空席のあるゼミについては、先着順にて受け付けますのでお問合せください。

不測の事態発生により、開講中止となる場合や、Web 会議システムでの開講方式に変更する場合（講義内容も一部変更）がありますので、あらかじめご了承願います。

開講区分：(1) 論理的思考法、(2) 研究実践法、(3) 論文作成法

*卒業研究の履修希望者は、上記の三カテゴリーをすべて受講した上で申請することを推奨します。

【実施場所：北海道学習センター（札幌）】

氏名	大宮 学	概要：ChatGPT、Bing AI および Google Bard などチャット機能を有する人工知能(以後、生成 AI と略称)が急速に普及しています。これら生成 AI を利用することで、短時間に多くの情報を収集および文書化することが可能になります。さらに、生成 AI は文書の修正、翻訳およびコード生成など幅広い用途にも利用されています。 この基礎ゼミでは、生成 AI を利用してレポートや論文を作成するための効率的な方法について議論および実習します。
テーマ(区分)	生成 AI を利用したレポート・論文作成法 (3)	
実施日時	8月19日(土)13:30~15:00 8月26日(土)13:30~15:00 9月 2日(土)13:30~15:00 9月 9日(土)13:30~15:00	
氏名	常田 美和	
テーマ(区分)	看護研究と文献検討 (1)(2)	概要：興味関心がある研究に関する文献を探して内容を検討することは、研究を進めるうえで極めて重要です。このゼミでは看護研究のプロセスと文献を検索するための方法やツール、クリティークについて学びます。
実施日時	8月 5日(土)10:30~12:00 8月 5日(土)13:00~14:30 8月19日(土)10:30~12:00 8月19日(土)13:00~14:30	
氏名	中村 三春	
テーマ(区分)	谷川俊太郎のひらがな詩を読む (1)(2)	
実施日時	8月 5日(土)13:30~15:00 8月 5日(土)15:10~16:40 8月 6日(日)13:30~15:00 8月 6日(日)15:10~16:40	概要：谷川俊太郎は、70年以上に亘って第一線で活躍している日本を代表する現代詩人です。このゼミでは、谷川が書き続けているひらがな表記の詩を読解します。授業は教員による概要解説の後、受講者による自由なディスカッションを中心とし、最後に教員がまとめる形を取ります。受講者には、教員の作成したテキストを事前に配付して授業に臨みます。言葉に対する感性と、豊かな想像力を身につけます。
氏名	西川 克之	
テーマ(区分)	移動性という視点から現代社会を読み解く (1)(3)	
実施日時	8月19日(土)13:00~14:30 8月26日(土)13:00~14:30 9月 2日(土)13:00~14:30 9月 9日(土)13:00~14:30	
氏名	濱田 淳一	概要：前半は、医科学分野の原著論文を読みながら、研究計画の立案、研究の実践方法、結果の解釈などを学びます。題材に英語論文を使用しますが、逐一日本語に訳していくわけではありませんので、英語の得手不得手は関係ありません。後半は、医学生命科学系研究を行うにあたっての研究倫理と論文執筆・投稿にあたっての倫理について確認していきます。
テーマ(区分)	医科学論文の構成・読み方と研究倫理 (1)(3)	
実施日時	9月17日(日)13:00~14:30 9月17日(日)14:40~16:10 9月24日(日)13:00~14:30 9月24日(日)14:40~16:10	

基礎ゼミ 旭川サテライトスペース



【実施場所：旭川サテライトスペース（旭川）】

氏名	石塚 博規	
テーマ (区分)	第2言語習得研究から導かれるより効果的な言語学習方法の検討 (1)	概要：第2言語習得研究には諸説があり、その理論を構築するための研究方法もさまざまです。本講義では、代表的な第2言語習得理論を取り上げ、それぞれの理論構築のための実験・研究方法を検討するとともに、それらの理論から私たちが英語などの外国語を習得する時の、より効果的な学習方法とはどのような方法なのかを考えることで、論理的な思考の組み立て方を学びます。
実施日時	8月19日(土)13:00~14:30 8月20日(日)13:00~14:30 8月26日(土)13:00~14:30 8月27日(日)13:00~14:30	
氏名	小泉 匡弘	
テーマ (区分)	実践研究のデザインとまとめ方 (2)(3)	概要：研究を進める上での技法を身につけることを目指します。興味のある実践に関する文献を基に先行研究の読み方について学びます。また、研究に必要なとなるデータの種類と収集方法を知り、実際のデータ分析を体験します。そして、レポートや論文としてまとめる際のルールを学び、自身の研究デザインについてプレゼンテーションを行います。
実施日時	8月5日(土) 9:30~12:30 8月26日(土) 9:30~12:30	初日(8/5) までに自分の興味のある文献を1つ用意してください。

※ 卒業研究履修の手引～2024年度履修者用～ の配付について

「卒業研究履修の手引き～2024年度履修者用～」を、希望者に以下のとおり配付いたします。

※ 卒業研究はこれまでの科目と異なり、自分でテーマを見つけ、研究方法を模索し、成果をまとめるという主体的な学習です。

郵便でのご請求の場合は、ハガキの裏面に「卒業研究履修の手引希望」と記入し、①氏名、②学生番号、③送付先住所、④連絡先（電話番号）を明記して、下記《お問合せ先》の住所まで郵送してください。

《お問合せ先》放送大学北海道学習センター
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目（北海道大学構内）
Tel 011-736-6318

卒業研究については、『学生生活の栞』の46ページを参照してください。

また、システムWAKABAの「学習案内」ページに、過去の「卒業研究履修ガイダンス」の資料が掲載されていますのでこちらも参考にしてください。

(システムWAKABA > キャンパスライフ > 学内関連 > 学習案内)

客員教員による学習指導・学習相談

◎対面・電話・web会議システム『Zoom』のいずれかにおいて、本センターの客員の先生方が学習の進め方、学習上で生じた種々の相談に応じます。

※「学習相談票」に希望の相談方法・必要事項を記入し、相談日の7日前までに事務室宛にお送りください。「学習相談票」は北海道学習センターHPよりダウンロードが可能です。

◎令和5年7月から令和5年9月までの相談日程（予定）は、次のとおりです。

◎先生方のご都合により急遽日程が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

北海道学習センター

客員教員	専門分野	対面・電話・Zoomのいずれかによる学習相談の日程			時間			
		7/1(土)	8/19(土)	9/2(土)				
えんどう とおる 遠藤 泰 先生	薬学	7/2(日)	8/20(日)	9/9(土)	13:00	～ 15:00		
		7/8(土)	8/26(土)					
		7/4(火)	★8/5(土)	9/22(金)				
おみや まなぶ 大宮 学 先生	情報科学	7/14(金)			11:00	～		
		7/29(土)			★13:30	～		
						13:00	～	
かきさき ていじ 蛸崎 悌司 先生	分析化学	★7/4(火)	8/3(木)	9/14(木)	10:00	～		
		★7/11(火)	8/17(木)	9/21(木)			★12:30	～
		7/27(木)	8/24(木)					
しんかわ たかのり 新川 貴紀 先生	臨床心理学	7/27(木)	8/23(水)	9/22(金)	10:00	～		
ちやう はくいち 張 博一 先生	国際法	7/14(金)	8/4(金)	9/28(木)	10:00	～		
		7/21(金)	8/18(金)	9/29(金)				
		7/28(金)	8/25(金)					
つねだ みわ 常田 美和 先生	母性看護学 国際看護学	7/1(土)	8/10(木)	9/7(木)	10:00	～		
		7/20(木)						
		7/30(日)						
なかむら みはる 中村 三春 先生	日本文学	7/12(水)	8/2(水)	★9/27(水)	13:30	～		
		7/19(水)					★14:30	～
にしかわ かつゆき 西川 克之 先生	観光研究	7/5(水)	8/23(水)	9/6(水)	15:00	～		
		7/12(水)						
はまだ じゅんいち 濱田 淳一 先生	腫瘍生物学	7/5(水)	8/3(木)	9/6(水)	10:00	～		
		7/12(水)						
		7/19(水)						
よしの いわお 吉野 巖 先生	心理学	7/7(金)	8/4(金)	★9/12(火)	10:00	～		
		7/14(金)	8/25(金)	★9/19(火)			★11:30	～
		7/28(金)	★8/29(火)					

旭川サテライトスペース

客員教員	専門分野	対面・電話・Zoomのいずれかによる学習相談の日程		時間	
		曜日	基本的な日程		
いしづか ひろき 石塚 博規 先生	英語教育学	木曜日	(基本的に第1週～第3週)	13:30	～ 15:30
こいずみ たけひろ 小泉 匡弘 先生	技術教育	金曜日	(基本的に第1週～第3週)	9:30	～ 11:30
たかはし まさはる 高橋 雅治 先生	心理学	水曜日	(基本的に第1週～第3週)	14:00	～ 16:00

2023年度第2学期面接授業開設科目

予告

※2023年6月現在

講義日程		科目区分	担当講師	科目名	定員
10/14(土)・10/21(土) 10/28(土)・11/ 4(土) 11/11(土)・11/18(土) 11/25(土)・12/ 2(土)		基盤科目	杉浦 秀一	論文指導:社会科学の名著を読む 【教科書】	12
10月14日 10月15日	(土) (日)	人間文化	佐山 圭司	いじめを哲学する 【教科書】	70
		総合科目	三谷 朋弘 近藤 誠司	北海道酪農の昔・今・未来 【傷害保険】	30
		心理教育	高橋 雅治	心理学実験3 【旭川】	30
10月21日 10月22日	(土) (日)	心理教育	佐藤 千裕	親の離婚と子どもについて考える	70
		人間文化	下濱 晶子	盛期ルネサンスの芸術	40
		総合科目	曾根 輝雄	ワインの科学 【傷害保険】	15
10月28日 10月29日	(土) (日)	心理教育	吉野 巖	教育認知心理学 【北見】	25
		自然環境	岸根 順一郎	ニンジンで学ぶ量子の世界	30
		総合科目	高橋 浩晃	地震の科学と防災減災	80
11月4日 11月5日	(土) (日)	社会産業	勝本 敦洋	我が国における技術教育の展望 【旭川】 【傷害保険】	25
		基盤(外国語)	楊 彩虹	基礎中国語会話	35
		心理教育	守屋 淳	中動態としての主体的な学び	80
11月11日 11月12日	(土) (日)	人間文化	井上 貴翔	映画における女性表象	40
		社会産業	齋藤 健一郎	法を通じて時間のあり方を考える	25
		人間文化	山田 桃子	日本文学とメディア技術の文化	50
11月18日 11月19日	(土) (日)	自然環境	仙北 久典	有機化学と身近な有機化合物 【傷害保険】	15
		生活福祉	瀬浦 崇博	生活に役立つ栄養学 【旭川】	25
		基盤科目	田邊 鉄	新・初歩からのパソコン	20
11月25日 11月26日	(土) (日)	情報	伏見 清香	生活に生かすデザイン基礎	80
		心理教育	和田 博美	心理学実験1	30
		社会産業	國武 英生	対話で学ぶ雇用社会と法	60
12月2日 12月3日	(土) (日)	基盤(外国語)	桑名 保智	VOAニュース読解 【旭川】	25
		基盤(外国語)	中道 有美	英語に自信がつく!コース 【辞書】	15
		生活福祉	本田 光	地域の絆で支える看護学	30
12月9日 12月10日	(土) (日)	生活福祉	千葉 逸朗	口腔疾患の予防	60
		自然環境	曾根 輝雄	生物実験2:DNAから蛋白質へ 【傷害保険】	15
		基盤科目	田邊 鉄	プログラミングからはじめよう	20
12月16日 12月17日	(土) (日)	心理教育	山田 真由美	教育人間学概論	40
		心理教育	川田 学	保育的発達論のはじまり	30
		総合科目	山村 高淑 岡田 真弓 福山 貴史 張 慶在	国際的視座から見る北海道観光	80
12月23日 12月24日	(土) (日)	人間文化	村田 裕和	詩人・小熊秀雄とその時代 【旭川】	25
		生活福祉	藏満 保宏	体の中身と働きと病気	80
		心理教育	川端 美穂	文化的実践に導かれる「発達」	35
1月6日 1月7日	(土) (日)	心理教育	和田 博美	心理学実験3	30
		生活福祉	浜上 尚也	食の安心・安全と健康	60
		生活福祉	出口 哲久	作物と生活のこれまで、これから	60
1月6日 1月7日	(土) (日)	人間文化	渥美 伸彦	学校における国語教育 【旭川】	25
		基盤(外国語)	富成 絢子	映画を通して学ぶ英語	40
		心理教育	澤 聡一	物語から読み解く青年期の心理学	40
1月6日 1月7日	(土) (日)	心理教育	入江 智也	心理検査法基礎実習	80
		情報	大宮 学	Python機械学習入門	20
		生活福祉	濱田 淳一	がんを正しく理解する 【釧路】	25

【旭川】旭川サテライトスペースにて開講 / 【北見】【釧路】各地域にて開講

【傷害保険】授業前日までに、学習センターにて学生教育研究災害傷害保険に加入する必要があります

【教科書】指定の教科書を事前購入する必要があります

※詳細は2023年度第2学期面接授業概要(シラバス)をご確認ください。

2023年度第2学期の面接授業の紹介

中動態としての主体的な学び

2023年11月4日（土）・5日（日）

担当講師：守屋 淳（北海道大学・教授）

中動態とは、哲学者國分功一郎がその著「中動態の世界」（医学書院、2017年）で取り上げたことをきっかけとして、最近注目されるようになった概念です。「中動態」自体は能動態、受動態などと同じ文法用語ですが、國分は人間の経験のある部分の中動態として捉えた方が正確に理解できることを示しました。この講義では学校教育において協調されるようになった「主体的な学び」も、学習者の意図的な能動的なものではなく、中動態的なもの（気がつけばその学びの中にいる、思わず夢中になってしまっている）なのではないかという立場から、主体的な学びのあり方に迫っていこうと思います。

生活に活かすデザイン基礎

2023年11月18日（土）・19日（日）

担当講師：伏見 清香（放送大学・教授）

デザインは生活と密着しています。社会におけるデザインについて、日常生活に役立つ色の話や質の高いデザインを選び取るための知識を事例を見ながら考え、現状の問題点について探り、社会におけるデザインの役割を理解します。

国際的視座から見る北海道観光

2023年12月9日（土）・10日（日）

担当講師：山村 高淑（北海道大学・教授） 岡田 真弓（北海道大学・准教授）

福山 貴史（北海道大学・博士研究員） 張 慶在（広島大学・准教授）

国際的に見た北海道の魅力とは一体何でしょう？ 北海道のツーリズムは国際的に見て、どのような位置付けができるのでしょうか？ 本科目では、国際的研究活動を行っている4名の講師が、北海道の地域資源、そしてそうした資源に基づくツーリズムの魅力について国際的視座から紹介を行います。そのうえで、国際的視座から見た北海道ツーリズムの課題と可能性について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。講義では、文化遺産、先住民族文化から、自然資源、ポピュラーカルチャーまで、北海道ツーリズムの多層性の理解を目指します。

次学期の準備について

次学期の準備「継続入学・科目登録申請」のため、対象者には大学本部より各要項が届きます。出願及び申請の際には、各要項ならびに『学生生活の葉』を必ず参照し、お間違いのないよう手続きしてください。ご不明な点は、北海道学習センターまたは旭川サテライトスペースまでお問い合わせください。

継続入学

学生生活の葉：教養学部 (p.91～)・大学院 (p.90)

今学期末で学籍が切れる方へ、本部から7月上旬に「出願関係書類」が送付されます。ぜひ、引き続き放送大学を活用いただきますよう、ご検討よろしくお願いたします。

- ◆次学期に再試験のみを希望する場合は、「出願票他提出書類セット」にある出願票の科目登録欄の「今回の出願が、2023年度第2学期に通信指導の再提出資格または単位認定試験の再試験受験資格を得るためだけの出願ですか?」の「◆はい」の右欄に○印をつけてください。再履修科目がない場合は出願が無効になります。
- ◆**継続入学される方で学期当初から、面接授業を登録希望の方は科目登録申請期間中にシステムWAKABAの「継続入学申請」からインターネット出願の上、科目登録を行う必要があります。**
 ※ システム WAKABA→継続入学申請（現在登録されている情報の入力が省略できるため、簡易に出願ができます。郵送による出願では面接授業の当初登録はできません。）
- ◆選科・科目履修生が、初めて全科履修生として出願する場合は、システム WAKABA の「継続入学申請」からのインターネット出願、または同封されている「出願票他提出書類セット」内の「出願票(様式1)」で手続きしてください。
- ◆全科履修生の場合、2015年度以前のカリキュラムが適用されている方は、継続入学後は2016年度以降のカリキュラムとなり、従来とは卒業要件が異なりますのでご注意ください。

出願方法	ネット	【システム WAKABA】より出願
	郵送	出願票に、必要事項を記載し郵送

出願締切	ネット	第1回 8月31日(木) 24:00まで 第2回 9月12日(火) 17:00まで ※全科履修生の証明書類等の提出も上記締切日まで必着
	郵送	第1回 8月31日(木) 本部必着 第2回 9月12日(火) 本部必着

学生募集期間	面接授業の登録について(学期当初)	オンラインによる授業視聴について	印刷教材の送付について	学費納入期限
第1回/ 2023年6月10日(土)～ 2023年8月31日(木)	所定の条件を満たした場合に限り登録できます。(募集要項7ページ参照)	9月14日(木)までに学費を納入した場合に限り、10月5日(木)から受講できます。	9月14日(木)までに学費を納入した場合に限り、学期開始(10月1日(日))までに届きます。	10月2日(月)まで
第2回/ 2023年9月1日(金)～ 2023年9月12日(火)	登録できません。			

科目登録

学生生活の菜：教養学部 (p.55～)・大学院 (p.56～)

次学期も学籍が続く方へ、本部から7月中旬に「科目登録申請要項」が送付されます。
要項記載事項をご確認の上、次学期に履修する科目を下記の期間中に本部へ申請してください。
システム WAKABA で成績を確認のうえシステム WAKABA から登録申請を行うことを推奨します。
◆学部生は、次学期の面接授業の受講を希望する場合は面接授業も同時に申請してください。
◆2023 年度第1 学期に登録した科目が単位を修得できなかった場合（通信指導未提出・単位認定試験不合格等）には、学籍が継続している場合に限り自動的に再登録されます。
※誤って「学生募集要項」に同封されている出願票他提出書類セットの出願票で申請してしまうと、無効になりますのでご注意ください。

申請方法	ネット	【システム WAKABA】の「科目登録申請」より申請
	郵送	科目登録申請票に、必要事項を記載し郵送

受付期間	ネット	8月15日(火) 9:00 ～8月31日(木) 24:00
	郵送	8月15日(火) ～8月30日(水) 私書箱必着

学期末で卒業見込みの方へ

学生生活の菜：教養学部 (p.91～)

学期末で卒業見込みの方には、本部より、「継続入学手続き等のご案内」が送付されます。
これらをよくお読みの上、必要に応じて継続入学または科目登録申請を行ってください。
◆継続入学手続き：卒業後に再入学を希望する場合または今学期で学籍が切れるが卒業にならない場合に備えて行うものです。
◆科目登録申請手続き：今学期に卒業とならない方で、次学期も学籍が続く場合は、科目登録を行ってください。（卒業となった場合は、科目登録申請は無効となります。）

2023 年度第1 学期の単位認定試験について

2023 年度第1 学期の単位認定試験は、Web 受験方式で実施します。

1 試験期間

次の日程で実施します。

2023年7月15日(土) 9:00～7月25日(火) 17:00

2 実施方法

自宅等からインターネットを通じてWeb 単位認定試験システムにアクセスし、50分の試験時間内で問題を閲覧し解答を提出(送信)します。

3 成績通知

試験結果は8月下旬に「成績通知書」によって通知いたします。

また、システム WAKABA 「教務情報→履修成績照会」でもご自身で成績を確認することができます。

なお、学習センター等での受験申請は既に終了しています。

学長裁量経費採択のお知らせ

2023年度学長裁量経費（学習センター支援）採択結果について、北海道学習センターが申請した学生支援プロジェクトが採択されましたのでお知らせします。



道民流学生支援プロジェクト2023 「いつでもどこでも仲間に会える」

コロナ禍をきっかけとして、遠隔地間のコミュニケーションツールを活用した取り組みが始まり、学習機会や学生同士の交流機会、そして学習センターを身近に感じてもらえる機会が増えています。昨年度に引き続き今年度においても、北海道民の助け合い精神を活かした取り組みを行うとともに、学習センター利用者の増加やサークル活動の活発化と相まって、学生同志の交流が以前の活気を取り戻せるよう学生支援活動に取り組みます。また、若い学生の増加を受け、若者のネットワーク作りに向けた取り組みを継続して実施します。

アカデミックカフェ（気軽に学べる講演会）については以下のとおりです。今後は学習センターのホームページ等で詳細をご案内しますので、ぜひご参加ください。

アカデミック・カフェ（気軽に学べる講演会）

◎ 開催日程等

※ 各回の講演題目は、決定次第ホームページ等でご案内します。

第1回：7月29日（土）13:15～14:30（会場：北海道学習センター）

講師：客員教員・常田 美和先生【専門分野：看護学】

第2回：9月 2日（土）13:15～14:30（会場：北海道学習センター）

講師：所長・山田 義裕 先生【コミュニケーション研究・観光学】

第3回：10月 8日（日）13:00～14:30（会場：北海道学習センター）

講師：客員教員・石塚 博規 先生【専門分野：英語教育学】

第4回：11月25日（土）13:15～14:30（函館開催・会場 未定）

講師：客員教員・中村 三春 先生【専門分野：日本文学】

第5回：1月27日（土）13:15～14:30（会場：北海道学習センター）

講師：客員教員・蠣崎 悌司 先生【専門分野：分析化学】

個別相談会のご案内（函館・釧路・帯広）

下記日程・会場において、近郊のみなさんから修学上の様々なご相談に対応させていただきます。大学卒業及び資格取得等における修得単位及び今後の修得単位の確認、または次学期の科目登録においてわからないこと等事務的に対応できる事柄について、事前にお申込みいただいたうえでご相談に応じます。

当日は同時間枠で入学相談を受け付けており、合わせて5人程度の受入れ人数となりますので、早めにお問合せください。

なお、本相談会については既に6月中旬に本センターホームページでお知らせしています。



【開催日時・場所】

7月 8日（土）10:00～12:00 函館市青年センター（函館市千代台町27番5号）

※函館地区については、開催日が差し迫っていることから当日も受付いたします。同センターに電話（0138-51-3390）でご連絡願います。

7月29日（土）10:00～12:00 釧路市交流プラザさいわい（釧路市幸町9丁目1番地）

7月30日（日）13:00～15:00 とかちプラザ（帯広市西4条南13丁目1番地）

研究発表会実行委員会から

第19回放送大学研究発表会

おらせ

◎ 開催日程等（予定）

2023年10月8日（日）13:00から

記念講演：北海道学習センター 客員教員 石塚 博規 先生

研究発表：松田 大徳 さん（修士課程修了）

政川 俊康 さん（修士課程修了）

塚田 初美 さん（修士課程修了）

※ 詳細は本センターホームページでお知らせします。

主催：第19回放送大学研究発表会実行委員会

実行委員長：和泉 光則（北海道同窓会副会長）



メタバース キャンパス



昨年4月より全学生を対象として開設しているメタバースキャンパスがリニューアルしました。背景も「リアル学習センター」を意識したデザインに変更しました。

新企画「もくもく会」も実施中（机に向かう時、アバターを学習室に置き、会話はお互いのあいさつ程度とし、ただ「もくもく」と勉強や作業をする会です）イベント会場では、ミニ講演会、個人研究発表会が簡単にできます。24時間入室可能なので、友人と待ち合わせてのおしゃべり、サークル活動のミーティングなど、いつでもできます。

各種イベントも計画中です。是非一度入場してみてください。

9月8日（金）～9月末（予定）はスペースの一部で文化祭展示を行います。

変更等がありましたら学友会HP上にUPします。

入室方法・操作方法などについては、下記専用ホームページに掲載しています。

<https://meta2cp.jimdofree.com>

『メタバースキャンパス使い方』ページ

○学友会行事のお知らせ

8月5日（土） 「フリートークサロン」 13:30～ 6階会議室

主に学習上の悩みを交流する会です。予約不要です。ぜひご参加を！！

8月26日（土） 「ランチ後懇親会」 13:00～ 6階中講義室

学生生活全般の経験交流会です。

以前は北大北食堂で「ランチをしながらの交流会」でしたが、食堂が使えなくなり、ランチの後の懇親会になりました。

10月3日（火） 「北大北図書館ツアー」 10:30 5階ホール集合

3年ぶりに北大図書館が利用できるようになりました。ようやく「図書館ツアー」の再開です。北大北図書館の職員の方が施設の説明や利用方法等を教えてください。

放送大学の勉学において、北大北図書館は有効な勉学ツールです。

10月21日（土） 「北大散策（南部コース）」 13:20 5階ホール集合

ー昨年から新コースになっていますので、以前参加した方も是非ご参加ください。

スタート⇒ 銀杏並木 ⇒ 大野池 ⇒ 埋蔵文化センター展示室 ⇒ ポプラ並木 ⇒ 北大博物館⇒クラーク像 ⇒ 農学部 ⇒ 中央ローン ⇒ クラーク会館（約1時間半）

第14回放送大学北海道学習センター文化祭開催のご案内

第14回放送大学北海道学習センター文化祭開催のご案内を致します。

今年の文化祭は、「超えてつながる喜びを」のテーマのもと、次の目的で開催致します。

①学生同士の交流

放送大学が通信教育のため、学生同士が交流する機会が少なく、学生同士のつながりが希薄な学生生活になってしまう傾向があると思います。

そのような状況を変えるべく、文化祭を通じて、学生同士のつながりを深めることを目指しています。

②学生の見聞を広める

講演会・イベント等を通して、見聞を広めることに貢献致します。

以上の目的に沿って、次の様なイベントを企画しています。

イベントは、学習センター会場（実会場）と、メタバースキャンパス会場（オンライン会場）の2箇所です。

開催日は、

学習センター会場は、 9月8日（金）・9日（土）・10日（日） です。

メタバース会場（オンライン）は 9月8日（金）～9月30日（土）迄 です。

※文化祭 HP のURLは最終ページに記載しています。

【文化祭イベント概要】

<学習センター会場（実会場）>

●9月8日（金）

- ・文化祭開会式 12:50
- ・映画祭第一部 13:00～15:30（筑和先生解説・応答含む、入場は12時からです）
- ・学生作品、サークル紹介展示 終日

●9月9日（土）

- ・映画祭第二部 10:00～12:15（感想会含む、入場は9時半からです）
- ・講演会 13:30～15:30（質疑応答含む、入場は13時から）
- ・コーヒータイム 15:00～16:30
 - ・サークルステージ発表 15:40～16:00（「うたの会」「フランス語サークル」等）
- ・懇親会 16:00～16:30（コーヒー飲みながら来場者間で懇親）
- ・学生作品、サークル紹介展示 終日

●9月10日（日）

- ・学生作品、サークル紹介展示 撤収（午前中）

<メタバースキャンパス会場（オンライン会場）>

- ・学生作品、サークル紹介展示 9月8日（金）～9月30日（土）
- ・講演会ライブ配信 9月9日（土） 13:30～15:30
- ・サークルステージ発表ライブ配信 9月9日（土） 15:40～16:00
- ・懇親会 9月14日（木）・21日（木）・28日（木）の20時～21時で開催
- ・文化祭閉会式 9月30日（土） 12:00～

※9/1（金）～9/6（水）午後8時からオンライン会場（メタバースキャンパス）の操作講習会を行いますので、希望者の方は下記ホームページの申込みフォームからご連絡をお願い致します。

※講習申込みフォームURLは文化祭HPに記載しています。 申込みフォームQRコード



【文化祭イベント詳細】

映画祭について

※上映会場は 学習センター会場（大講義室）の予定（変更ある場合は文化祭 HP で）

・映画祭第一部

「帰ってきたヒトラー」 2015年 ドイツ映画 116分

（元北海道学習センター所長の筑和正格先生の解説付きです。）

9月8日（金） 受付 12:00～ 上映+解説 13:00～15:30

解説の筑和先生のコメント

21世紀のドイツにヒトラーが蘇るという設定で、「喜劇転じて(?)になる」というストーリーです。2015年の公開ですが、2004年『ヒトラー ～最後の12日間～』に比べてヒトラーの描き方も随分大胆になっています。

・映画祭第二部

「ブータン山の教室」 2019年 ブータン映画 109分（公式サイトに予告編）

9月9日（土） 受付 9:30～ 上映+感想会 10:00～12:15

ブータン王国北部、標高 4,800 メートルのルナナ村の学校を舞台に描くドラマ。

自らの意思に反して都会からへき地の小学校に赴任した新米教師と、村人や子供たちとの交流を映し出す。ある日、教師のウゲンは、ブータン王国で最も辺境の地であるルナナ村に転任するよう告げられる。彼はオーストラリアに行ってミュージシャンになりたいという夢を持っていたが仕方なく承諾し、1週間以上かけてようやくルナナ村に到着する。当初は電気もトイレトペーパーもない場所での生活を不安に思っていたウゲンだったが……。

文化祭映画担当の推薦文

どこにでもいる普通の若者が、自分のアイデンティティーに目覚めるラストシーンが印象的



・映画祭第三部（メタバースキャンパス 会場（オンライン会場））

アマゾンの「ウォッチパーティー」を使い、チャットをしながら映画を鑑賞する会です。

アマゾンプライムの会員登録必要（半年無料、継続する場合は学割で月 250 円）

会場：メタバースキャンパス・イベント会場 鑑賞作品は広く公募します。（公募締切 7/31）

日時：第一回 9月16日（土）20:00～ 第二回 9月30日（土）20:00～

※ 詳細説明は文化祭HPに記載しています

※ 公募フォーム URL は文化祭HPに記載しています。

公募フォーム QR コード



講演会について

- ・講演会 「北見の薄荷からどんなことが知れるか？（仮）」東海大学教授 和泉光則 先生

9月9日（土） 受付 13:00～ 開講 13:30～15:30

和泉先生からのコメント

昭和初期に世界を席卷しながら昭和末期に終焉を迎えた北見ハッカ産業史を、薄荷草から薄荷油とメントール結晶を取る化学実験実習に取り入れ、文理融合的な付加価値を付けましたが、この世界はさらに広げることができます。多彩な座標軸を持たば持つほど、物事を俯瞰的・客観的に見られるようになると思いませんか？北見薄荷を題材として、そんな広がりをお自分なりにイメージしてみませんか。

YouTube と メタバースキャンパス会場（オンライン会場）で同時配信しますので自宅からでも聴講できます。

- ・YouTube で聴講 ・・・・ QR コード から
（※YouTube の URL は文化祭HPに記載しています。）
- ・メタバースキャンパス会場（オンライン会場）で聴講



映画祭一部・二部・講演会の申し込みについて

会場の都合で「申し込み先着100名」とさせていただきます。

映画祭の申込は7月31日（月）を締め切りとさせていただきます。

講演会の申込は8月31日（木）を締め切りとさせていただきます。

申込方法

- ① グーグルフォームにて申し込み（右のQRコード）
※グーグルフォームURLは、文化祭HPに記載しています。
グーグルアカウントはキャンパスメールでも可（学生番号@campus.ouj.ac.jp）
- ② 電話にて申し込み
電話の場合は日中。ショートメール可（お名前と参加イベントを記入）



【お願い】

今後、諸事情で、文化祭開催のご案内内容を変更することがございます。最新情報は文化祭HPにて、ご確認ください。

文化祭HP

<https://sites.google.com/view/hcmetacamp/文化祭>



文化祭HPのQRコード



スケジュール



	視聴室利用
○	可
×	不可

7月				8月				9月			
日	曜	視聴室	事項	日	曜	視聴室	事項	日	曜	視聴室	事項
1	土	○	7月上旬 ・受験票 送付	1	火	○		1	金	○	
2	日	○		2	水	○		2	土	○	
3	月	×	閉所日	3	木	○		3	日	×	臨時閉所日（北海道SCのみ）
4	火	○		4	金	○		4	月	×	閉所日
5	水	○		5	土	○		5	火	○	
6	木	○		6	日	○		6	水	○	
7	金	○		7	月	×	閉所日	7	木	○	
8	土	○		8	火	○		8	金	○	
9	日	○		9	水	○		9	土	○	
10	月	×	閉所日	10	木	○		10	日	○	
11	火	○		11	金	×	閉所日・山の日	11	月	×	閉所日
12	水	○	7月中旬 ・科目登録申請要項 送付	12	土	×	臨時閉所日	12	火	○	◆9/12 2023年度第2学期 第2回募集 出願締切
13	木	○		13	日	×	臨時閉所日	13	水	○	
14	金	○		14	月	×	閉所日	14	木	○	
15	土	×	単位認定試験	15	火	×	臨時閉所日	15	金	○	
16	日	×	単位認定試験	16	水	○	◆8/15 2024年度 修士・博士全科生出願開始	16	土	×	学位記授与式(札幌・旭川)
17	月	×	閉所日	17	木	○		17	日	×	↑
18	火	×	単位認定試験	18	金	○	第2学期科目登録申請受付 [郵送] 8/15~8/30 必着 [web] 8/15~8/31 (9時) (24時)	18	月	×	閉所日・敬老の日
19	水	×	単位認定試験	19	土	○		19	火	×	
20	木	×	単位認定試験	20	日	○		20	水	×	
21	金	×	単位認定試験	21	月	×	閉所日	21	木	×	
22	土	×	単位認定試験	22	火	○		22	金	×	
23	日	×	単位認定試験	23	水	○		23	土	×	閉所日・秋分の日
24	月	×	閉所日	24	木	○	◆8/25 2024年度修士・博士全科生 出願締切	24	日	×	
25	火	×	単位認定試験	25	金	○		25	月	×	閉所日
26	水	×	臨時閉所日	26	土	○		26	火	×	■9/17 ~ 9/30 次学期準備のため 視聴学習室閉室
27	木	○		27	日	○		27	水	×	
28	金	○		28	月	×	閉所日	28	木	×	
29	土	○		29	火	○		29	金	×	
30	日	○		30	水	○	◆8/31 2023年度第2学期 第1回募集 出願締切	30	土	×	↓ 大学院入試
31	月	×	閉所日	31	木	○					

事務室の利用時間と閉所日

区分	曜日	北海道学習センター	旭川サテライトスペース
事務室閉所日時	火~日	9:45~17:30 (視聴室は10:00~12:00 13:00~16:00) (電話対応は18:00まで)	9:00~17:00

- ・来所時のマスクの着用については、個人の判断に委ねることとしますが、本学学生の特長として高齢者が多い状況から、当面の間、来所時の状況や場面に応じた着用を推奨しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・閉所時間等の詳細は、北海道学習センター・旭川サテライトスペース ホームページでご確認ください。